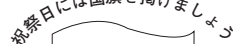


山梨県神社庁報



3月21日 春分の日

4月29日 昭和の日

平成31年新春号 (第184号)



總見諏訪十五所神社

同 同 同 同 同 同 同 同 同
 本庁評議員理事
 支部長理事
 副 庁 長
 神政連本部長理事
 協議員會議長理事
 教化委員長理事
 指名理事
 神青会長理事
 總代会會長理事
 總代理事
 顧 問 事
 監 事
 同 參 事
 主 事
 録 補 事
 同
 山梨県神社総代会
 神道政治連盟山梨県本部
 山梨県神道青年会
 山梨県教育関係神職協議会
 山梨県女子神職会
 山梨県神職保護司会
 山梨県敬神婦人連合会
 山梨県神道雅楽会
 山梨県氏子青年協議会

役 役 役 役 役 役 役 役 役 佐 深 金 飯 野 深 羽 中 中 遠 桃 中 小 渡 渡 上 森 齋 市 志 日 秋 古 佐 小 根
員 員 員 員 員 員 員 員 員 藤 澤 子 田 田 澤 中 田 込 藤 井 村 山 邊 邊 文 越 藤 川 村 原 山 屋 々 佐 津
一 一 一 一 一 一 一 一 一 宜 雄 直 哲 欽 豐 倫 一 宗 利 一 義 行 重 盛 忠 真 木 野 正 泰
同 同 同 同 同 同 同 同 同 忍 彦 紀 樹 武 夫 進 哉 秋 生 祝 彦 行 郎 學 厚 建 實 治 治 幸 也 弘 仁 史 昇

謹賀新年



新春を迎えて

庁長 根 津 泰 昇

明けまして

おめでとうございます。

皇紀二千六百七十九年、平成三十一年、己亥、八白土星歳の輝かしい新春を迎え、皇室の弥栄と、神社関係者の益々のご繁栄をご祈念申し上げます。

畏くも天皇、皇后両陛下におかせられましては、天機愈々麗しく日々ご公務にあたりご精励遊ばされております事慶賀に存じます。昨年は多くの災害に見舞われた年でありました。両陛下にあらせられましては被災地にお心を寄せられて、その都度足を運ばれお見舞い遊ばされた事は、国民に思いを寄せられている証だと存じ、慶賀に堪えないしだいであります。

本宗と仰ぎます神宮におかれましては、式年遷宮を納め五年、着々と次の目的に向けて前進しておりますことを感じる年でありました。

神宮大麻増体に関しましては、神社庁として初めての試みの、大麻に關しての広報活動を新聞紙面と、重点地区に折り込み広報活動をいたしました。反

響は思った以上の成果で、問い合わせが多数有り、大麻頒布の啓発活動になりました。

本年は日本にとっては平成から新しい時代への変遷がある年で、皇位継承の一連の諸儀式が、皇室の伝統に則て斎行される貴重な年であります。ご承知の通り四月三十日に御譲位遊ばされ、五月一日に御即位遊ばされます。一連の諸儀式はご即位の後、踐祚の式、即位礼、大嘗祭と続き、厳肅かつ伝統と格式に満ちたものであります。

この御代替わりの年に当たり、斯界として奉祝気運を高めなければなりません。神社庁としては役員会に於いて奉祝委員会の設立が承認されております。時期としては、新天皇陛下のご即位をお祝いする国民祭典の後を予定しております。国民祭典は、新元号元年の十一月に皇居前広場で予定されております。

国民祭典、県民祭典は国民、県民挙つてお祝いするのは勿論であります。が、「平成」の元号の意味の日本国が「たいいらかに

なる」の如く国民の心が一つになることが肝要であり、特に青少年に對し皇位継承の諸儀式は、神代より現代まで受け継がれてきた日本国の精神の継承の儀式であることの啓発活動にもなり得ると考えております。この御代替わりの諸儀式が滞り無く納められることを願つてやみません。

本年は憲法改正を実現させる年でもあります。昨年十二月五日に開催された「美しい日本の憲法をつくる国民の会」全国大会の声明文に各党の素案が掲載されています。自民党は「自衛隊明記」「緊急事態条項」「教育の充実強化」「参議院の合区解消」。立憲民主党は「解散の制約」「知る権利」。国民民主党は「平和的改憲」。公明党は「環境権」。日本維新の会は「教育無償化」「統治機構改」「自衛隊をめぐる憲法改正の議論を進める」。希望の党は「九条改正案」「知る権利とプライバシー」等を各党が条文案を公表してあります。

しかしながら、憲法審査会では具体的内容は全く議論されていない異常事態であります。憲法は国の基本であり、原点であることを鑑みれば、各党が将来の日本の為に審査会を促進し、改正原案作成に前向きに取り組

む事を期待したい。その為にも斯界を挙げて憲法改正の議論を醸成していかなばなりません。

今年は、己亥、八白土星歳です。己亥は病み猪であり、弱い猪とも呼び、猪突猛進のイメージとは異なります。諸事を心配したり、取り越し苦労が多く、人の言葉を信じすぎて欺かれることがあります。

八白土星は事がゆき詰まる象見られ、進路変更、考え方の変更を選択せざるを得ない事態が予測されます。

今年を平穩に営むなら、和の心と人の心を尊重する精神で接し、諸事に無理せず日常生活を一步一步着実に歩み、目前の事柄を速やかに慎重に処理する事が肝要でしょう。

運氣上昇の星は六白金星、順調運は一白水星、九紫火星、三碧木星。注意運は二黒土星、八白土星生まれの方です。

星除け祈願を受けられる方は、歳破を受ける七赤金星の人の、衰退運の四緑木星の人、変動運の八白土星の人、暗剣殺を受ける二黒土星の人です。

以上の事を参考にしたいいただき、この一年着実に歩み良き年であることをご祈念申し上げます。新年の挨拶と致します。

敬神生活の綱領

神道は天地悠久の大道であつて、崇高なる精神を培ひ、太平を開くの基である。神慮を畏み祖訓をつぎ、いよいよ道の精華を發揮し、人類の福祉を増進するは、使命を達成する所以である。ここにこの綱領をかかげて向うところを明らかにし、実践につとめて以て大道を宣揚することを期する。

一、神の恵みと祖先の恩とに感謝し、明き清きまことを以て祭祀にいそしむこと

一、世のため人のために奉仕し、神のみこともちとして世をつくり固め成すこと

一、大御心をいただきてむつび和らぎ、国の隆昌と世界の共存共栄とを祈ること



御世替わりの新春を迎えて

山梨県神社総代会

会長 中 込 豊 秋

明けましてお芽出度う後座居ます。各位におかれてはお健やかな新しい年を迎えられた事と思います。

昨年は県神社総代会の事業並におのおの神社へのご奉仕に御協力を頂き有難うご座居ます。本年も更なるご協力を賜りますようお願い申し上げる次第であります。

畏くも皇室におかれましては、天皇陛下御在位三十年慶祝行事、天皇陛下御譲位、皇太子殿下の御即位など、ご多忙な年になられましたよう。

皇室をいただく我国は、いつの世も天皇陛下におかれては、常に国民の幸せと国の繁栄、更に世界の平和をお祈りされております。皇太子殿下の御即位、国民等しく喜びとするところであります。

両陛下におかれましては御譲位後には、ご余生を御静穏にお過ごしなされるよう、心よりご祈念申し上げる次第であります。

御代替わり国民唯一の願いは、争いのない平和な世界であります。

今我国を取巻く状況は近隣諸国をはじめ、韓国による竹島の

占領、すでに竹島には時折り多くの政治家、軍隊までが上陸するのは目にあまるものであります。なお中国の空軍機、軍艦が領空、領海をも我者顔で侵す状況が近年多くなり、ロシアの空軍機までが領空を侵す。この様な折に米国のトランプ大統領と北朝鮮の金労働委員長とが昨年六月シンガポールで会談された約束が、今も実現せず、果たして我国の安全が守れるでしょうか。我国の現状を考えるとこの際、国土を守る、国民の生活を守る、現代に即した憲法の改正が、どうしても必要であります。如何なる国も変化に添った憲法の改正をするのは常識であります。我国の将来を確り考へ多くの方々と共に語り合い実現して参りましょう。

本県神社界の最も大きな問題は不活動神社対策であります。少子高齢化、人口減少が更に続き山間地域の住民は高齢者が多く催事もなく、境内は荒れ、社殿は朽ちて放置されており、県内には二百社を超えとも言われ、これからはなお増えて、宗教法人としての役割が果たし得ない場合は併合、それも出来ない状況なら、解散手続きも必要

になります。これらは住人のいるうちに対応すべきで放置しておくとは非常に困難になります。時流は待つて居てはくれません。早急に取組むべきであります。

大麻頒布については神社界総力をあげて対応すべきで特に伊勢神宮より賜る神棚の活用は一つの手段であります。各社の授与所に飾り置き特に若者を対象に確り説明し、なお各支部の会合の折に受付にて特に新たに総代になられた方に説明することが大切で、昨年六支部の会合に持参してお話し申したところ思いのほか反響がありました。何処にありますか、お金はいらないですか。これには驚きました。第二回絵画コンクールでは、総代各位ご協力で依り応募三百六十五点良い成果を得ました。三ヶ所の展示会場へ来場者も思ひのほか多数お見えになられ、各位の活動の結果であり、有難うご座居しました。今後は対象施設の校長、園長に内容を確り説明してご協力を得ることが必要であります。なお難しいとは思いますが、マスコミのご協力を頂けるならば大成功と考えます。神社界にとりましては、ふさわしい活動であり、継続すべきであります。変化の時代を乗り越え神社界の継続発展、並に各位のご健勝を乞い願ひご挨拶とします。

平成三十年十月神社本庁 定例評議員会開催

本庁評議員
古 屋 真 弘

去る平成三十年十月二十四日午後一時から、神社本庁大講堂に於いて、定例評議員会が開催された。本県からは根津庁長、中込総代会長、古屋本庁評議員の三名が出席した。

開会儀礼の後、鷹司統理から御代替りについて「諸儀式が伝統に則り行われ、奉祝行事が盛大に行われるよう取り組みなければならぬ」との旨の開会挨拶がなされ、来賓の神道政治連盟服部幹事長から挨拶がなされた。次に中山議長が登壇し、先に逝去された北白川前統理と、五月の評議員会以降に帰幽した片岡長老、大森評議員に黙祷が捧げられた。

議事に入り、「平成二十九年五月定例評議員会における評議員提出決議案件等の処理結果」「平成二十九年度神社本庁業務報告」が上程され、報告通り承認された。次に六名の評議員から動議が出され「田中総長の辞意に係る発言について理事会を開催し、進退を鷹司統理に一任する事を評議員会の過半数の決議を持って勧告する事を求め

る」との発言があった。この意見に反対意見が出され、他の評議員からは「御代替りの大事な時に大義のために小異を捨てて一致団結し、一丸となって取り組む事こそ重要」との意見が出された。多くの意見が出されたが、休憩の後、議長より「規定上代表役員である総長の進退は評議員会の権限に属さないの

で、動議を議題として取り上げるのは不適当」との発言があり、この件は終了した。以降、平成二十九年年度の決算関係として「一般会計歳入歳出決算」「各種資金及び保管金会計収支計算書」「財産目録」「事業会計決算」「火災地震相互共済会計収支計算書及び財産目録」「神社賠償責任保険会計収支計算書及び財産目録」が上程され一括承認された。次に「平成三十年度一般会計歳入歳出補正予算」が上程、可決された。

自由討論では、熊本県宮崎國忠評議員が「神社本庁設立の功労者宮川宗徳の顕彰について熊本県神社庁と出身地である被災地南阿蘇の取組みについて」と題し宮川宗徳氏顕彰の事について話がなされた。

次に、田中総長、鷹司統理が閉会の挨拶をされ、評議員会は終了した。

全国教化会議

教化委員会 委員長
中 村 宗 彦

去る十一月二十九日・三十日に神社本庁において、全国教化会議が開催され、本県より中村教化委員長と金子神社庁主事の二名で参加致しました。

本年の主題は、来年の御譲位による御大典を控え、「御大典奉祝に向けた教化活動」というものでした。また三カ年継続教化実践目標である「家庭のまつりと地域の祭りの振興を目指す」との二年目にあたり、実施状況の確認や、実践にあたっての課題の検討を行いました。

二十九日は開会式に続いて、牛尾教化広報部長より開催趣旨、本庁の教化施策の説明、また本庁の教化資料、神職専用サイト等の活用により更なる教化活動の充実を希望する旨の挨拶がありました。

会議に先立ち、元宮内庁掌典職掌典補で京都御香宮神社権禰宜の三木善明氏と、皇室ジャーナリストの久能靖氏による基調講演がありました。三木氏は講演で、陛下は祭祀において、「国の繁栄、国民の安寧」をひたすら御祈念され、御自身のことはお祈りされないという事を強くおっしゃってられました。

た。一方、久能氏は、これまでの皇室取材の経験により、陛下のお人柄について説明され、象徴天皇としてのあり方を常に考えてこられ、一切の妥協されないお姿を紹介されました。

両日に亘つての分散会、三十日の全体会では、奉祝活動に行政も参画させるためにはどの様にしたらよいか、或いは、将来のために奉祝活動の記録誌を作成するべきという意見もありました。



平成三十年度 神社関係者大会

「奉祝 天皇陛下御即位三十年 平成三十年度山梨県神社関係者大会」が昨年十月二十一日、コラニー文化ホールにて開催された。

第一部天皇陛下御即位三十年奉祝祭が、山梨県神社庁理事、山梨県神道青年会（山梨県神社庁副庁長小佐野正史斎主以下五名）の奉仕、神道雅楽会（秋山忠也会長以下五名）の奏楽により厳かに斎行された。

第二部記念講演では、「明治天皇と山梨県 明治維新一五〇年」と題して、明治神宮国際神道文化研究所主任研究員打越孝明先生より講演を頂いた。



第三部の式典は小佐野副庁長の開式の辞で始まり、神宮選擇、国歌「君が代」斉唱、中村神社庁理事の先導による敬神生活の綱領唱和、物故者の御霊に黙った後、根津庁長より式辞が述べられた。次いで、中込総代会長の挨拶がなされた後、参事より庁務報告が行われた。

功績表彰では、神社庁表彰規程に基づき厳正なる選考、審査により決定した、平成三十年度山梨県神社庁規程表彰者四名に対し、代表者が登壇し、根津庁長より表彰状が授与された。

次に、山梨県神社総代会表彰規程に基づき厳正なる選考、審査により決定した、平成三十年度山梨県神社総代会規程表彰者四十四名に対し、代表者が登壇し、中込総代会長より表彰状が授与された。

次に、神社本庁規程表彰者四名に対し、代表者が登壇し、神社本庁統理鷹司尚武様（御名代神社本庁総長田中恆清様）より表彰状が伝達された。

次に、全国神社総代会規程表彰者二名に対し、代表者が登壇し、中込総代会長より表彰状が伝達された。

次に、全国神社総代会設立六十周年記念表彰者十二名に対し、代表者が登壇し、中込総代会長より表彰状が伝達された。

次に、神宮大麻頒布に尽力した神職四名と二支部に対し、代表者が登壇し、神宮大宮司小松揮世久様（御名代神宮欄宜長内弘昭様）より表彰状が伝達された。

次に、めでたく米寿を迎えられた三名の神職に、長寿のお祝い記念品が贈呈された。

次いで来賓の祝辞があり、神社本庁統理鷹司尚武様（御名代神社本庁総長田中恆清様）、神宮大宮司小松揮世久様（御名代神宮欄宜長内弘昭様）、神道政

被表彰者抱負

浅間神社

権欄宜 古屋 真 東

此度は神宮大麻頒布優良奉仕者表彰を頂き誠にありがとうございます。本年は平成の御代最後の年また、個人的には奉職して干支の一周する十二年目、山梨に帰ってきて五年目と節目の年になります。そんな節目の年にこのような賞を頂けたことは誠に光栄に思います。

私の奉職する浅間神社では地域の氏子さんへの頒布の他に、社頭に参拝へお見えになった方々への授与所での頒布も多く数を占めています。昨今は若い方を中心に神社や伝統文化に興

治連盟会長打田文博様（御名代神政連副会長加藤治樹様）、参議院議員赤池誠章様、自民党山梨県連会長代行山梨県議会議員皆川巖様の五名の方が、それぞれの立場から祝意を表した。

来賓の方々の紹介、祝電披露の後、被表彰者を代表して、甲府支部宇波刀神社宮司石原鎮氏より謝辞があり、次いで中田欽哉総代会副会長の先導により聖寿の万歳が奉唱され、佐々木副庁長の閉式の辞によって滞りなく大会は幕を閉じた。

味を持ちながらも、自身の氏神さまが何処か、神符守札にどのような意味があるのかを分からずにいる方も多いようです。本宗である神宮の役割と神宮大麻の意味や神社大麻との違いなどを、それぞれの年齢や興味の度合いに合わせて分りやすく丁寧に説明し理解して頂く事が社頭での頒布数を増やす事に繋がったと思います。

昨年は全国的に地震や大水害、台風などの自然の天知を超えた災害の多い年でした。こんな時だからこそ、本宗を中心に日本人は一つにまとまっていかなければならないと思います。その為にも今後とも神宮大麻の頒布に、なお一層励んでいきたいと思っております。

神宮新穀感謝祭 支部報告

神宮新穀感謝祭に

参加して

東八代支部

石和八幡宮 宮司

土 橋 英

秋も深まり、初冬の足音が聞こえて来た十一月十三日。早晩の凜とした空気に包まれながら二日間に渡る伊勢への旅路が始まりました。今年は支部各地区から六十三名のご参加を頂き、一路神宮を目指しました。到着後外宮から内宮へと向かい、内宮参拝時には生憎の空模様となりましたが、参道を進むと鬱蒼とした大木から溢れ出る生命の息吹を感じ、その力強い生命力を頂き、何度訪れてもその都度新鮮で、清々しくも森厳なる空気を心身に享受出来る。御垣内参拝から御神楽奉納へ、また宇治橋へと向いながらふと我が地元の祭りへと心を馳せてみました。「祭る」日々私達の暮らしを見守って下さる氏神様。その氏神様に御礼や感謝の気持ちをお返しするのが「祭り」である。神社の「祭り」と一般行事の祭りとの明確な違いは、そこには人々の純粋なる「祈り」があるかどうかである。「祭り」は地域を活かし、そこに住む人々

を育む。氏神様の御神威を頂きながら賑々しく「祭り」が斎行される地域は活き活きとしている。「祭り」という地域に根ざした伝統文化は、歴史の中でそれが、世の為人の為地域の為にという気概や、篤い思いを持つて護持伝承して来たものである。歴史とは時間の流れであり、太古から途切れる事無く、絶えずに今この時から未来まで続いている。過去から託され未来から預かっている。「祭る」という文化を、その真中に生きる私達には「繋ぐ・伝える」使命と責任がある。神宮の杜は私にとつて神職として初心に戻り、神社のあり方を見つめ直す原点回帰の場所でもあります。



神宮新穀感謝祭参拝旅行

峡南支部 支部長

市 川 行 治

平成三十年度の新穀感謝祭参拝旅行の参加者募集は、九月に開始しました。

参加者総数は五十九名で、前年より二十六名多く参加して頂きました。

十一月十三日・十四日の日程で、十三日は、五時半出発で、峡南各地を回り、七時十五分に富沢に集合、一路伊勢神宮を目指しました。

岩戸屋で昼食後、外宮・内宮を参拝し、一年間の感謝と参加者それぞれの祈願を行いました。

どういふ訳か、外宮内宮とも参道を進む際は小雨に降られましたが、御垣内参拝の際は雨が上がり、心を落ち着けて参拝することができました。

その後宿舎の鳥羽シーサイドホテルに移動、その夜は恒例の懇親会を開催しました。鳥羽シーサイドホテル恒例の餅つき大会や、総代さんの得意のカラオケのど自慢など大いに盛り上がり親睦を深めることができました。

翌日は、蒲郡のオレンジパークで昼食を戴き、三河の国一宮の砥鹿神社の正式参拝に伺いました。岩崎宮司様を始め、お世

話頂いた職員の皆様には心からお礼申し上げます。

その後、焼津の魚市場で海産物のお土産を購入して、乗車場所から逐次解散致しました。

参加者からは概ね好評を頂きましたが、バス代の高騰による参加費用の高額化、伊勢神宮以外への参観場所の選定、参加者の高齢化による参加者数の減少等課題も多く、これからの新穀感謝祭参拝旅行の募集に当たって企画段階から十分検討していく必要があると考えています。

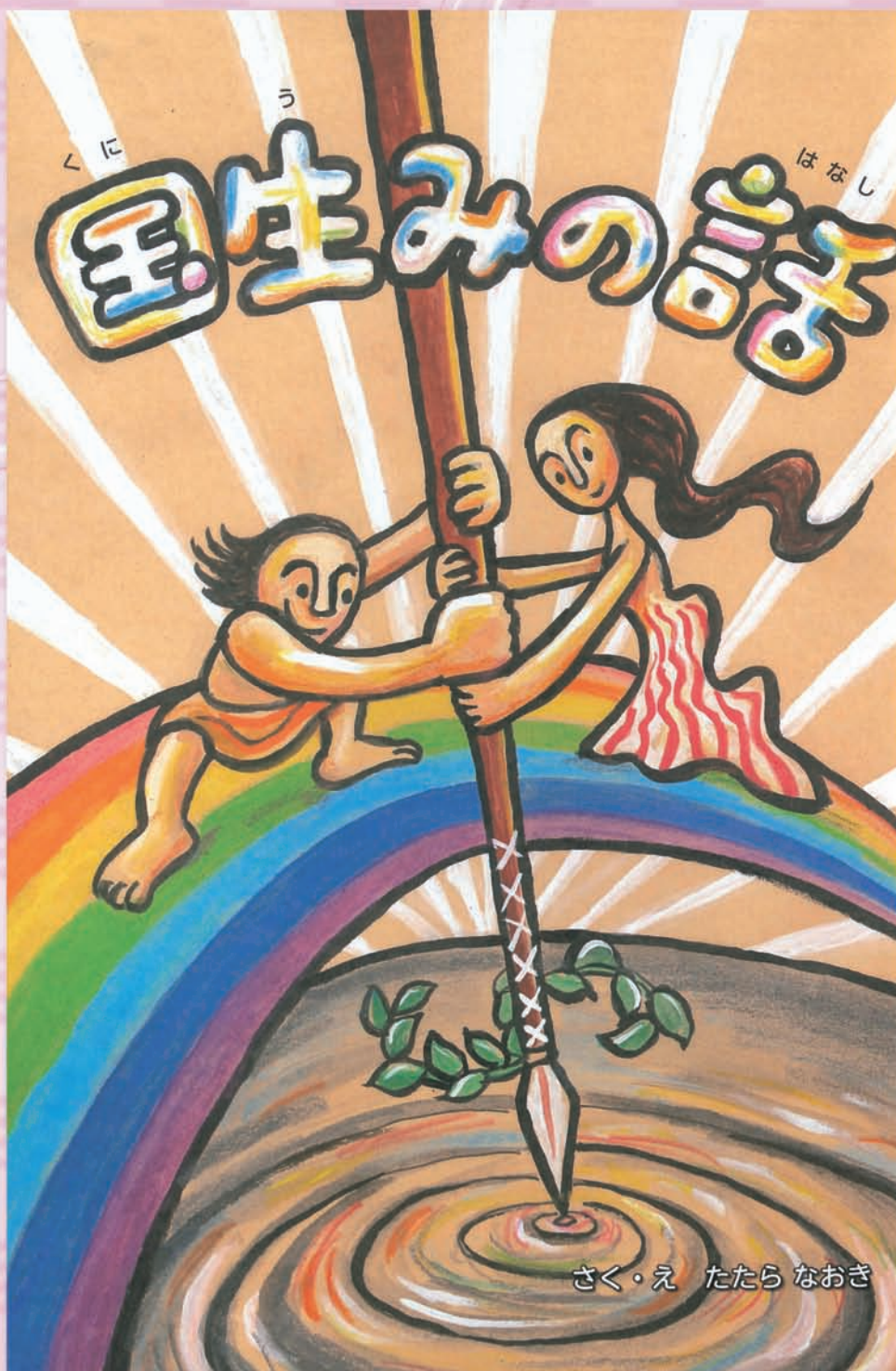
日常を離れ、神宮を参拝し神職氏子が交流を深めるよい機会でもあり、有意義な参拝旅行であったと思います。ご参加頂いた皆様のご協力に改めて感謝申し上げます。



平成30年11月13日 神社庁峡南支部

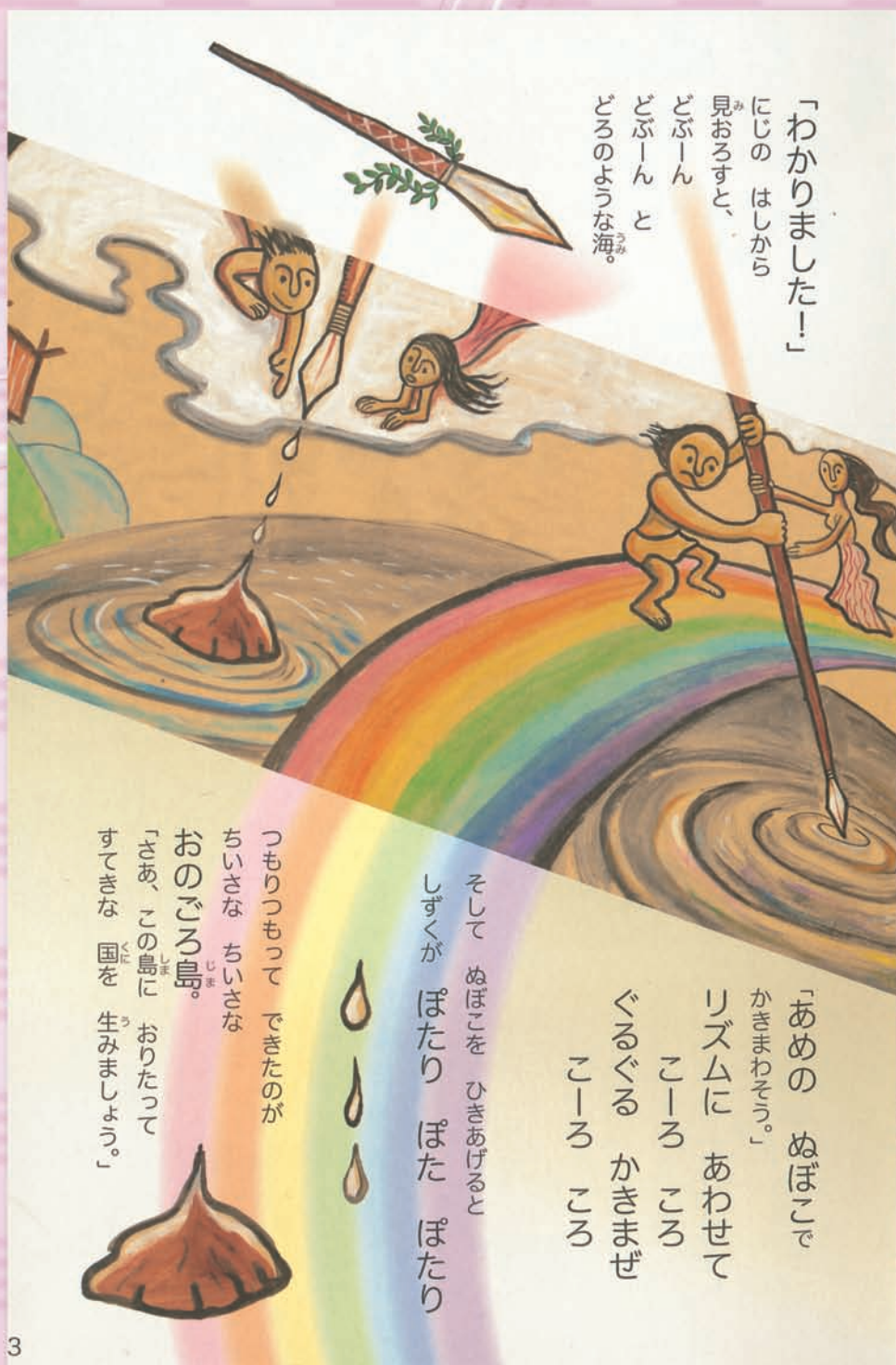
新穀感謝祭参拝旅行 伊勢神宮外宮前

絵本日本の神話
国生みの話（第二話）



「一般財団法人 日本文化興隆財団」提供
問い合わせ 東京都渋谷区千駄ヶ谷四一五―十
電話 〇三―五七七五―一四一五
一冊 二〇〇円

お子さん、お孫さんと、
神話の世界をお楽しみ下さい。





島 しま

の まん中に ふとーい 柱が。
なが ひたひた

いざなぎは 左まわり、
みぎ

いざなみは 右まわり。

ぐるっと まわって 出会ったら
まず いざなみが いいました。

「まあ、りっぱな あなたさま。」

そのあと いざなぎが いいました。

「ああ、かわいい おひめさま・・・」

うーん、しつくり こないなあ。

男の おとこ ぼくが さきに いおう。」

ぐるっと まわって やりなおし。

いざなぎが さきに いいました。

「おやおや、かわいい おひめさま。」

つづいて いざなみが いいました。

「あらあら、りっぱな あなたさま。」



すむと ぐうでしよう。

つぎつぎと 島が 生まれました。

「あそこにも 島が、ここにも 島が。

よし、名前を つけましょう。」

生まれた 順に、あわじ島、いよの島・・・そして、
おおよまとよあきつ島。

ぜんぶ あわせて
おおやしまの国、

わたしたちの 国が
できたのです。



山梨県神社庁

神殿新嘗祭を奉仕して

東山梨支部

日 原 盛 幸

我が国は曾て稲作中心であったから、春に五穀豊穡を祈願し秋に豊作を感謝する祭が国家の基本的祭祀とされて来た。

戦後は神社の立ち位置が変わり一時消沈したものの神社関係者の努力により復活、現在も少子過疎化に悩みながらも全国の神社で盛大に斎行されている。

特に新嘗祭は、豊かな稔りを戴いた天神地祇への感謝の発露で、人の道の基本と成る奥深い祭りである。世界に誇れる礼節も、斯うした祭の精神に因り育まれて来たものと思われる。

昨年十一月十九日午後一時三十分山梨県神社庁神殿に於いて平成の御代最後の新嘗祭が根津泰昇山梨県神社庁長、中込豊秋山梨県神社総代会長を始め、多くの神社関係者の参列の下斎行された。

祭儀は東山梨支部が担当し、祭主日原盛幸大嶽山那賀都神社宮司、副祭主高野正興氷川神社宮司、祭員稲葉和仁五所大神社宮司、祭員小田切宣幸唐土神社宮司、典儀



田邊芳弘黒戸奈神社禰宜。奉楽は山梨県神道雅楽会、和琴並鞆鼓秋山忠也、太鼓松田公仁、鉦鼓藤巻普紀、笙関宣隆、箏篠原康正、龍笛中川武仁の各氏が努めた。

祭員は定刻、斎服・浄衣姿に威儀を正し伶人の典雅な雅楽の調べに合せ参進、修祓から始まり一連の儀を恙無く奉仕、厳肅裡に祭儀を了えた。

今年の秋斎行される大嘗祭(だいじょうさい)は、天皇陛下が御即位後初めて行う新嘗祭である。多くの国民の祝福の中、厳かに斎行される事を願っている。

国旗掲揚推進委員会

子供の自由画コンクール展

委員長 中込 豊 秋



第二回の子供の自由画コンクール展、応募数も三百を超え、展示会場に予想以上の方々がお見えになりました。これも総代はじめ関係各位の活動による成果であると実感した次第であります。

特に印象に残ったのは「おじいちゃんの家」家の神社の風景でありました。

これこそ我々が祝祭日に国旗を掲揚しお手本を示すべきであります。一例として地域の保育園、幼稚園、小中学校を訪問して園長、校長等に確り目的を示し、理解を得てご協力を得ることです。保育園二ヶ所、幼稚園二ヶ所、小学校一ヶ所等で二百を超える応募を得ました。

なお今後については、教師への資料として日章旗の歴史、外国の国旗の歴史、例として(米国の国旗には州の数の星が印されております)子供らには関



心をもつ子もありましよう。この絵画コンクール活動も回数を重ねて参るなか、いづれかの機会にはテーマを「家々に国旗を掲げる風景」をとるならば、目標は達成されたことです。時間はかかります。継続なくして成果なし。世界で国旗掲揚率百九十二番の日本、恥ずかしい限りに思う。

この絵画コンクール活動をマスコミの協力を得られるならば更に盛り上がりと思われる。この変化時代マスコミも又この問題に関心を持つ時が、きっと来ると信じております。

最後になりますが、国旗掲揚推進委員会の各位の今日までのご協力に感謝申し上げ、どうかこの火を消すことなく目標達成までのご活動を乞い願いお礼のご挨拶とします。

年男
年女

平成三十一年 己亥



年男の抱負

桃園神社 宮司 村 松 常 男

下闇に

日々のつとめぞしのばるる

つかさ人あり 桃園の宮

これは私が子供の頃、時の宮司であつた祖父のもとに昭和村の磯部翁が訪ねて来られ、我家に一泊され詠まれた歌です。

桃園神社の境内は四千五百坪あり、鬱蒼とした森が氏子等の自慢であり誇りでもありました。昭和十五年、即ち皇紀二千六百年記念として、先人達総出で松や杉の苗を二千六百本植樹した歴史があります。

戦後、台風と松喰虫の被害で貴重な松の太木が五十数本枯れてしまいました。その時の植樹のお陰で今も威容を保っております。

私が宮司就任時先ず思ったことは、氏子等の育み馴染んだ鎮守の森を末長く残さねばならないという事でした。

さて、南アルプス市役所緑自然課に、樹木の苗木無償配布という制度があるとの情報に接したのが、私が桃園区長の時でした。それは緑の募金運動が原資で公共施設等の緑化に資するを目的とした事業でした。

早速神社は如何かと打診したところOKをいただき、山茶花を始めとして、桜、楓、榊、公孫樹、紫陽花、梶、楠等の苗を植樹し、今年で数百本に達し、山茶花の生垣を眺めながら継続の力を感じております。

村の中に毎年見事な花を咲かす桜の太木があります。だが、植えた人はその姿を見る事は出来ません。が、その志は残っておりと思います。

庁報委員会より、標題の原稿の依頼を受けましたが、的外れはご容赦願ひ、今年も何本か植えようと思っております。

歳男の抱負

富士浅間神社 権禰宜 萱 沼 延 治

平成三十一年己亥の年男を迎えて、月並みではありますが、還暦と重なり、これまでの生活を顧みますと、走馬灯のごとく頭を駆けめぐってまいります。昭和三十四年は、三十年御即位となられる天皇陛下と皇后陛下の御成婚の年で、翌年にはプリンス浩宮様がお生まれになりました。それはそれは、新しい皇室の明るい出来事であり、日本発展を予感できる年でありました。昭和・平成と時代は流れ、今年、皇太子殿下が御即位なされる新しき年であります。

日ごろより、生涯職として、縁りのある神社関係の皆様を支えられ、大過なく過ごしてこられたことは、浅間の大神様、八百万の神様の御加護でありまして、感謝に耐えないところであります。

この歳まで生かされている者として、今後、神明を頼りに神のみこともちとして、その使命に向け、自身の表技・内技を磨きつつ、世の為に更なる敬神のこころを強めてまいりたいと考えております。

よく、「偉くなる」と申しますが、えらいとは、奢れる権威がすごいのではなく、素直に人の為に汗をかき、

祭 典 日 程

2・3	稲積神社節分祭 市川三郷町上野表門神社一之西 甲府市中央大神宮例祭 甲府市中央大神宮節分祭 富士
2・8	吉田市上暮地神明社節分祭 忍野村忍草浅間神社節分祭 忍野村内野浅間神社節分祭 富士河口湖町船津八王子神社節分祭 富士河口湖町船津簡口神社節分祭 御坂町二之宮美和稲積神社針供養
2・11	甲府市宮前町八幡神社建国祭 甲府市国玉町玉諸神社建国祭・祈年祭 甲府市青沼浅間神社建国記念祭 身延町帯金八幡大神社紀元祭 南アルプス市藤田八幡神社紀元祭
2・16	富士市六山町穂見神社祈年祭 富士吉田市上暮地神明社祈年祭 山梨市塩山市上暮地神明社祈年祭 山梨市下栗原大宮五所大神祈年祭 富士吉田市新倉富士浅間神社祈年祭 富士吉田市松山松尾神社祈年祭 忍野村忍草浅間神社祈年祭 忍野村内野浅間神社祈年祭
2・17	忍野村忍草浅間神社簡粥祭並びに秋葉祭 忍野村内野浅間神社簡粥祭 小淵沢町小淵沢北野天神社祈年祭天神祭
2・18	甲斐国一之宮浅間神社山宮神幸祭・講社大祭
2・21	甲府市愛宕町愛宕神社春季皇霊祭 一宮町橋立甲斐祭神社春季例祭 昭和町西条義清神社祈年祭
2・22	南アルプス市鏡中条巨摩八幡宮春季例大祭
3・10	一宮町末木向之木八幡宮春季例祭 甲斐市篠原八幡神社春季例祭
3・21	勝沼町菱山古宮太神社春季例大祭 塩山市萩原神社春季例大祭
3・24	
3・29	

えらい思い（心身疲れる、かつたるい思い）をし、その責務を全うすることから、偉いと言われるものだと理解しておりますが、ことにより、私の地元の方言では逆に、えらいを能力が足りない場合などに、かつたるい、えらいと、揶揄されることがありますので、その様なことを言われぬ様、自らを律し、さらなる高みを目指し、これまでの反省と自戒を含め、特に亥年歳男として、歳神様の御加護を厚く賜り、努力し精進してまいる所存であります。

年女の抱負

中尾神社 禰宜 田村 かおる

明けましておめでとうございます。平成から新しい元号に変わる年に、四回目の年女を迎える。今回「年女の抱負」と題して原稿依頼を頂き、あらためて節目の年に身の引き締まる思いである。短大を卒業し、金融機関に七年程勤めた後は、工業系分野である今の会社に入社して二十年となる。私が三十代後半の時、宮司である父の勧めで神職の資格を取り、仕事の傍ら父と共に神社の職務に励んでいる。私は、いつも心掛けて大切に生きていくことがある。それは「一期一会」。ありがたいに、これまで沢山の方のご縁を頂き、時には叱咤激励を、また時には助言を頂いていることに心から感謝している。

最近、この言葉の奥深い意味を知る。初めて逢う人だけでなく、いつも会う人それは家族、友人、仲間にも言葉をお交わすその瞬間瞬間は「一期一会」。二度と同じ瞬間はないのだから……その時間を大切に。昨日父が傘寿を迎えた。八十を過ぎてもなお夢があり、それに向かって走り続けている父。

「生きていく限りはとことんやり尽くす。」と話す父。その姿勢には敬意を表す。

亥の年、新たに一期一会を意識して「今」というこの瞬間を大切に生きたい。

年男として

富士御室浅間神社 権欄宜 濱 将盛

まさに「時代の節目」という年に、有難くも人生において三回目の年男を迎えました。まずは三十六歳という年まで、無事に恙無く過ごせたことを、両親を始め日頃ご指導ご鞭撻を頂戴している方々に深く感謝を申し上げます。

御縁あつて斯界に受け入れてもらって以来、「瞬く間」と言う言葉を本当に実感する事が多く、未熟者ゆえ、春秋の例祭を未だ慌てながら終えれば、すぐに新年を迎えるという有様です。歳を重ねることに時間が早く感じる事を「ジャンナーの法則」と呼ぶことを知ったのもつい最近の事で、これは十代の職員に教えて貰いました。まだ胸を張って若者だと言っていた時は、三十六歳といえば大分成熟した大人の様なイメージでしたが、いざ迎えてみれば、諸先輩方からも、今どきの若者からも、教わることの多い年だと日々実感している次第です。斯界においても、諸先輩方から見れば、自分など、まだまだ鼻つたれの小便小僧だと存じます。今後も「亥年生まれだから、猪突猛進に」ではなく、周囲を見渡し、多くの方々の声を聞き、それを社会に還元できる三十台後半を目指して、精進してまいりたいと存じます。

取り急ぎ、四度目の年男も無事に迎えることができるよう、今迄以上に誠意を以て神明に奉仕し、自身の健康にも留意し、毎日を明るく、楽しく清々しく、家族と過ごしていきたいと思ひます。

結びに、甚だ僭越では御座いますが、この時代の節目の一年が、皆様にとってより良い一年になられることを祈念申し上げ、私の抱負とさせて頂きます。

4・3	石和町市部石和八幡宮春季例大祭
4・4	山梨市正徳寺唐土神社春祭例大祭 勝沼町等々力諏訪神社春季例大祭 石和町川中島比枝神社例大祭 南アルプス市吉田諏訪神社春祭例大祭
4・5	春日居町鎮目山梨岡神社例大祭 牧丘町西保中宮神社春祭例大祭 八代町北熊野神社春祭例大祭 春日居町鎮目山梨岡神社例大祭
4・6	御坂町二之宮美和神社例大祭 宮崎住吉神社春季例大祭 御坂町二之宮美和神社例大祭 市川三郷町上野表門神社御幸祭 甲府市小瀬町鈴宮諏訪神社例大祭 甲府市小瀬町天津司神社例大祭 早川町京ヶ島八幡日吉神社春祭 南アルプス市百々諏訪神社春季例大祭 南アルプス市藤田八幡神社春季例大祭 市川町山町御名方神社春季例大祭 市川町山町善光寺紫宮神社例大祭 市川町勝手神社春季例大祭 市川町山町諏訪神社春祭 市川町山町諏訪神社春祭
4・7	甲府市市部玉諸神社郷土の祭り神輿巡行 甲府市酒折折酒宮献詠祭長坂町長坂上条穂見諏訪十五所神社春季大祭
4・8	甲斐国一之宮浅間神社大神幸祭 甲府市中央甲斐神社例大祭 甲府市玉町玉諸神社例大祭
4・9	生田神社奥宮祭
4・10	上野原市桐原原力利神社例大祭 富士吉田市新倉富士浅間神社春祭例大祭
4・11	富士吉田市松山松尾神社例大祭 忍野村内野浅間神社例大祭
4・12	甲府市市部玉諸神社郷土の祭り神輿巡行 甲府市酒折折酒宮献詠祭長坂町長坂上条穂見諏訪十五所神社春季大祭
4・13	甲斐国一之宮浅間神社大神幸祭 甲府市中央甲斐神社例大祭 甲府市玉町玉諸神社例大祭
4・14	生田神社奥宮祭
4・15	上野原市桐原原力利神社例大祭 富士吉田市新倉富士浅間神社春祭例大祭
4・16	富士吉田市松山松尾神社例大祭 忍野村内野浅間神社例大祭
4・17	甲府市市部玉諸神社郷土の祭り神輿巡行 甲府市酒折折酒宮献詠祭長坂町長坂上条穂見諏訪十五所神社春季大祭
4・18	甲斐国一之宮浅間神社大神幸祭 甲府市中央甲斐神社例大祭 甲府市玉町玉諸神社例大祭
4・19	生田神社奥宮祭
4・20	上野原市桐原原力利神社例大祭 富士吉田市新倉富士浅間神社春祭例大祭
4・21	富士吉田市松山松尾神社例大祭 忍野村内野浅間神社例大祭

祭典を斎行して

厄神祭

穂見諏訪十五所神社

宮司 森越義建

八ヶ岳の南麓に位置する、北杜市長坂町長坂上條に鎮座する三社を合祀する旧郷社か穂見・諏訪・十五所神社では例年の毎一年の終わりの月、十二月六日午後一時、鎮守の森に清々しく鳴り響く太鼓の音を合図に、年内の種々災厄を避ける「厄神祭」を神社総代・世話人等が参列のもと厳肅に斎行いたしました。

この祭りの機嫌は定かではありませんが、神社年中行事において最高の記録が記されていることから少なくとも数百年前から行われてきた祭りと思われるます。

現在は厄年除けも加わります
が病氣や様々な災厄除けと国家
国民の安寧を祈り、厳肅に執り
行われます。

厄神（やくじん）疫神（えきじん）に対する信仰は古く、令義解には年中祭祀として「鎮花祭」が規定されています。

これが当社の厄神祭と性格を



同じくするものと考えられます。鎮花祭は春、これには対をなす冬、当社では一年の終末期に重きを置き、厄神祭が行われてきたと考えられます。

古来より、年の節目に厄神、疫神に対するお祭りが行われてきたことが伺えます。

いずれにしても、災厄をもたらす厄神、疫神に対し「丁重にお祭りを行うことにより、災厄を防ぐ霊威ある神へと変わる」との考え方に基づき斎行し、日々の生活の平穏を祈る祭りではないかと思えます。

不活動神社対策協賛金

平成三十年十月六日から平成三十一年一月十日までに九十八名の神職、神社より七拾萬壱千円の御協賛を戴きました。
厚く御礼申し上げます。

御芳名

[illegible][illegible]



参議院議員（全国比例区）

御代替わりの年に際しての決意

赤 池 まさあき

新年明けましておめでとうございませう。旧年中はご厚情賜り、感謝申し上げます。

鎮守の杜を守ることをはじめ、皆様による様々な地域社会の和を保つ活動に対し、心より敬意を表します。

本年七月の参議院議員選挙において、全国比例区候補として、神道政治連盟山梨県本部より推薦を賜りました。私が政治活動に専念できるのは、皆様からのご厚情を頂いているおかげでございます。皆様のご支援あつての私であり、心より感謝申し上げますとともに、重ねて厚く御礼申し上げます。

本年は、光格天皇以来、二百年ぶりの御代替わりの年となります。平成最後の元日、都心では雲一つない好天に恵まれる中、皇居において「新年祝賀の儀」が開かれました。私も国会議員として参列してまいりました。衆参両議長が立法院を代表して新年の御祝を天皇陛下に申し上げ、天皇陛下からは「年頭にあたり国の発展と国民の幸せを祈ります」との勅を賜りました。

た。

翌二日の一般参賀には、平成の御代最高の十五万人もの国民が参列したとのことでした。

天皇陛下は、一月七日、御在位三十年を迎えられました。昭和天皇崩御の日でもあることから、八王子の武蔵野陵での「昭和天皇三十年式年祭の山陵の儀」に臨まれました。

二月二十四日には国立劇場で、政府主催の「御即位三十年記念式典」があり、四月十日には御成婚六十年（ダイヤモンド婚）となることから、官民連携して「奉祝感謝の集い」が同じ国立劇場で開催されます。そして、四月三十日に御譲位なされ、上皇陛下、上皇后陛下となられるのです。翌五月一日には、皇太子殿下が御即位なされ、改元されます。

初代神武天皇御即位以来、万世一系、男系による継承で、百二十六代目となられ、元号は「大化」以来二百三十二番目となります。元号は我が国だけに残ったもので、独立国としての歴史的証明でもあります。日本

の国柄の理解を深めるこれ以上の機会はありません。教育関係者からも、子供たちに国柄や歴史を学んでほしいという声を頂きました。

現在、学習指導要領には、中学校社会科公民的分野に「日本国及び日本国民統合の象徴としての天皇の地位と天皇の国事に關する行為について理解すること」とあり、その取扱ひ方として「天皇の地位」については、日本国憲法に定める天皇の国事に關する行為など児童に理解しやすい事項を取り上げ、歴史に關する学習との関連も図りながら、天皇についての理解と敬愛の念を深めるようにすること」とあります。

同要領の通り、退位礼正殿の儀、即位の礼をはじめとした国事行為を体感しつつ、百二十六代と続く天皇と我が国の歴史を学び、「伝統と文化を尊重し、我が国と郷土を愛する」（教育基本法）人づくりに繋げていく大変重要な年だと思っております。一連の行事を通じて、皇室とともに民があり、だからこそ世界最古最長の国が続いてきたことを、改めて認識することが大事です。

御代替わりでは、皇統の証として三種の神器が継承されます。八咫鏡（やたのかがみ）、

八坂瓊勾玉（やさかにのまがたま）、草薙剣（くさなぎのつるぎ）です。三種の神器は、智・仁・勇の「三徳」を具象化していると考え、「三徳」に基づき、歴代天皇も、自らを戒め、国家発展、国民安寧を祈念し続けているそうです。

畏れ多いことですが、私は、「三徳」は人づくりの目的であるとともに、そのまま国づくり・地域づくりの政策と通底しており、その強化が「国の発展、国民の幸せ」に繋がると思っています。智とは文部科学政策等、仁は厚労や国交・農水・経産・財政等の内政政策、勇は外交防衛・海保・警察・法務の外交・治安政策であり、自衛隊明記を求める憲法改正も、勇の政策強化の一環だと考えています。

自民党文部科学部会長も二期目となり、「国づくり、地域づくりは、人づくりから」をモットーに掲げ活動しています。それは、三種の神器から続く我が国に根差す伝統への想いであり、「敬神生活の綱領」にある精神とも共通していると思っています。

この想いを胸に、参院選を全身全霊で戦い抜きます。新年にあたり、今年一年ご指導のほど心よりお願い申し上げます。

今後の予定

○神社庁神殿祈年祭のお知らせ
神殿祈年祭を左記の日程で斎行いたします。

記

一、日時

二月十三日（水曜・先負）

一、日程

一、神殿祈年祭

午後一時三〇分

一、教化講演会

午後二時三〇分

講師 浅山 雅司先生

一、場所

山梨県神社庁 神殿

○靖國神社、

山梨縣護國神社参拝旅行

神道政治連盟山梨県本部では、恒例となりました靖國神社参拝旅行を左記の日程で実施致します。詳細な内容につきましては現在検討中ですので、決まり次第ご案内致します。山梨縣護國神社の参拝につきましては、別途開催致します。

記

一、日程

三月二十七日（水曜・仏滅）



山梨縣護國神社



靖國神社

支部研修会の案内

恒例の神職祭式研修会を左記の日程で実施致します。

神職は生涯の研修を通じて己を磨くことにより氏子・崇敬者の信頼を得ることが出来ます。他支部の研修を受けることもできますので、積極的にご参加ください。

記

一、日時と場所

①甲府支部

日時 五月十日（金）

場所 山梨県神社庁

②東山梨・東八代支部

日時 二月二十二日（金）

場所 山梨県神社庁

③峡南・峡中・峡北支部

日時 三月十五日（金）

場所 山梨県神社庁

④南都留・北都留支部

日時 五月二十九日（水）

場所 牛倉神社

受付 八時三十分

開講 九時

浦安の舞研修会の案内

日時 三月十一日（月・赤口）

開講 八時三十分

場所 山梨県神社庁

日時 三月十四日（木・先負）

開講 八時三十分

場所 山梨県神社庁



訂正

一八三号八項「金品寄付者に対して感謝状贈呈」の記事中誤りがございました。お詫びして左記の通り訂正致します。

記

神社本庁統理
北口本宮富士浅間神社

宗教法人解脱会

以上